（別記３　別紙様式第４号）

令和７年　８月　　29 日

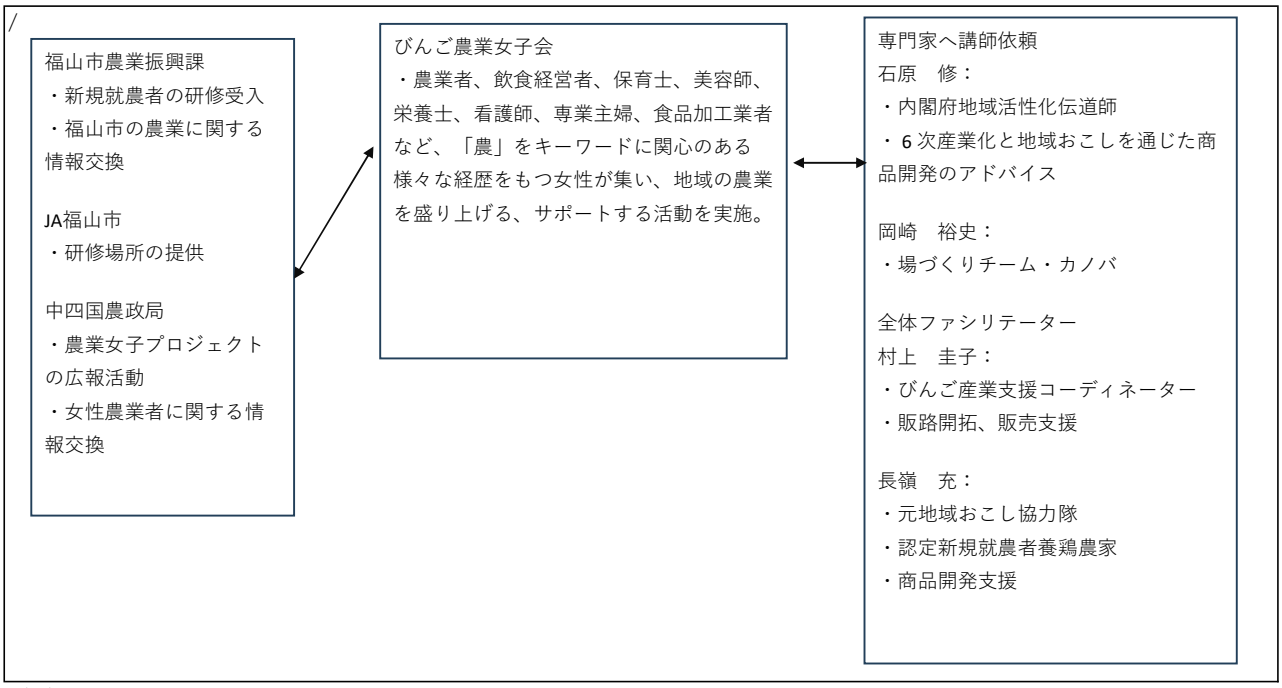
令和６年度女性の就農環境改善・活躍推進事業
（女性農業者グループの活動支援）計画書

１　地域取組主体の概要

名称	びんご農業女子会	
所在地	広島県福山市箕島町２９２－２	
代表者	西本　由佳	
主な組織の事業内容 （注1）	・びんご地域の農業に関心のある女性が集い、農業に関する研修会の実施 ・人手不足の農家と協力をしながら農業体験イベントの開催し、地域と農家が繋がる取り組みを実施 ・マルシェの開催やメンバーでの共同出店 ・女性農家の就農サポート、相談等 ・地域の農に関する情報広報、新聞へのコラム掲載	女性農業者の人数： （注2）　10人

（注1）主な組織の事業内容は、具体的に記載する。
（注2）構成員の所在地が複数の都道府県に跨る場合、所在する都道府県名をそれぞれ記入すること。

２　事業実施体制



（注）実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3　女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組に係る計画

（１）地域内で活動する場合（注）

取組区分	①商品等開発　②先進地視察　③会員募集・農業体験の受入等に係る取組 ④研修会　⑤マルシェ開催に向けた取組　⑥その他					
区分番号	時期	内容		実施回数	参加する女性農業者の人数	備考
④研修会	9月23日（火）	ア	第１回　研修会 「チームでつくる地域づくりと商品開発」講師：石原修 びんご農業女子会として地域の農業を盛り上げながら商品を開発する研修会を開催し、目標の設定、着地点を明確にするワークショップを開催	1	10	
④研修会	10月14日	イ	第2回　研修会 「第1回の研修会を終えて。～びんご農業女子会らしさとは？～」 講師：岡崎氏 第1回の研修会で学んだことを振り返りながら、びんご農業女子会らしさのチームビルディング初回を開催	1	10	
④研修会	11月11日	ウ	第3回　研修会 「びんご農業女子会での商品って？」 講師：岡崎氏 第1回及び2回の研修を通じて、継続したチームビルディングと商品づくりについての研修会を開催	1	10	
①商品等開発（企業との連携を伴わないもの）	10月～12月	エ	第１回～3回の研修を通じてアイディアを形にするフェーズ① メンバーと複数の試作品を製作し、改良を加えていく	1	10	
①商品等開発（企業との連携を伴わないもの）	1～2月	オ	アイディアを形にするフェーズ② 再び商品開発の試作に挑戦する。びんご農業女子会らしい地域の農家さんとコラボした商品開発を、POPやパンフレット等の効果的な広報手法について研修を通じて検討していく	1	10	
④研修会	1月or 2月	カ	第４回「まとめと今後の取り組み」 講師：石原修 3回の研修を通じての商品開発全体のフォローアップ及びよりよい今後の仕組みついて考える研修会を実施。また、実際に研修を経て作成した商品の試食会も同時に開催する	1	10	
計				6	60	

(注1) 取組ごとに具体的に記載すること。また、事業実施主体は、本計画をホームページへ公表する際は、「事業費」及び「国庫補助金」の欄を削除すること。

(注2) 「内容」の欄に取組の実施場所・範囲についても記載すること。

(注3) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること

（２）都道府県を越えた活動が含まれる場合（注）

取組区分	①商品等開発　②先進地視察　③会員募集・農業体験の受入等に係る取組 ④研修会　⑤マルシェ開催に向けた取組　⑥その他							
区分番号	時期	内容		実施回数	参加する女性農業者の人数	事業費（千円）	国庫補助金	備考
計				0	0	0	0	

（注1）取組ごとに具体的に記載すること。また、事業実施主体は、本計画をホームページへ公表する際は、「事業費」及び「国庫補助金」の欄を削除すること。

（注2）「内容」の欄に連携の内容、取組の実施場所・範囲についても記載（都道府県を越える連携・活動内容について明記）すること。

（注3）「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること

（３）企業との協働が含まれる場合（注）

協働する企業名	
具体的な取組内容	

（注1）企業と協働して取り組む内容を記載すること。

※ 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※ 添付資料のうち、申請者のウェブサイトにおいて閲覧が可能な場合は、当該ウェブサイトのURLを記載することにより当該資料の添付を省略することができる。

※ 国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。